

事務局報

2017年8月25日発行

発行／銀行業務検定協会・事務局 発行責任者／廣瀬 智人
〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03)3267-4821(代) ホームページ <http://www.kenteishiken.gr.jp/>

〈第137回〉銀行業務検定試験成績発表

事業性評価3級が好成績

去る6月4日(日)に実施いたしました第137回銀行業務検定試験の成績結果ができましたので、ご参考までに発表いたします。

上記試験の成績に関する受験者および研修ご担当の皆様へのご通知・ご報告は8月1日(火)までにすべての手続等を完了させております。

■法務2級

「法務2級」の成績結果は、次頁〔表-1〕のとおりです。

応募者数6,046名中受験者は5,062名で、合格者は1,290名でした。合格率は25.48%、平均点は40.20点で、前回(2016年10月)に比べて、合格率は2.07ポイント下回り、平均点は2.03点下回りました。

最高点は87点で、大伴孝一さん(三菱UFJ信託銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

〈預金〉の分野では、〔問題-2〕預金の相続が3.94点、〔問題-3〕預金への差押えで2.33点と

低い平均点となっております。〔問題-2〕の預金の相続は頻出テーマですが、遺言の効力等を中心に問うたためか低い結果となりました。また、〔問題-3〕預金への差押えも、受験者が苦手としているテーマであり、低い結果となりました。

〈手形・小切手〉の分野では、〔問題-4〕原因関係のない手形の効力が2.67点、〔問題-5〕盗難手形の効力が2.46点、〔問題-6〕不渡異議申立てが2.32点となっており、全般的に低い結果となりました。手形・小切手の取扱いが減少傾向にあるなか、苦手とされる受験者が多くなっているようです。

苦手とされている方が多い〈融資〉の分野では、〔問題-7〕法人取引の相手方が1.75点、〔問題-8〕抵当権消滅請求が3.03点、〔問題-9〕貸金等根保証契約が2.86点、〔問題-10〕集合動産担保が0.98点となっています。〔問題-7〕や〔問題-10〕は法務2級としてはあまり問われなかった分野からの出題となり、特に低い平均点となりました。

法務2級試験では、原則として各選択肢の正誤の判断の根拠となった条文や判例についても記述する必要があります。正しい、または誤っている選択肢がわかれば、選択肢の記述をそのまま、または正誤を逆にして記述をすれば、内容としては正しくなるためです。本試験は六法の持込みが可

主要項目

- ▶ 〈第137回〉銀行業務検定試験成績発表
- ▶ 団体賞受賞団体等一覧
- ▶ 団体賞受賞団体を訪ねて
- ▶ 都道府県別合格率ランキングのご紹介
- ▶ 研修所紀行
- ▶ 10月試験のご案内

能となっているので、学習をするなかで六法を使い、論点に関連する条文や規則、判例等について記載場所を把握しておく、試験時間を有効に使い、より合格に近づきます。

■法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数 23,087 名中受験者は 20,819 名で、合格者は 6,807 名でした。合格率は 32.70%と、前回 (2016 年 10 月) に比べて 6.78 ポイント上がり、非常に良好な結果になりました。

最高点は 100 点で、田原南香夫さん (北海道銀行) が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30%以下となった問題をあげてみますと、次のとおりです。

〈預金〉の分野では、〔問-9〕民事執行法による預金の差押え (24.32%) の 1 問、〈融資〉の分野では、〔問-20〕証書貸付と手形貸

付 (24.40%)、〔問-21〕債権譲渡の対抗要件 (26.47%)、〔問-26〕債務引受 (17.56%)、〔問-33〕担保権の実行と強制執行 (27.59%)、〔問-34〕民事再生手続 (14.79%) の 5 問、〈手形・小切手〉の分野では、〔問-39〕手形・小切手の消滅時効期間 (20.53%)、〔問-43〕小切手の依頼返却 (19.68%) の 2 問、銀行取引関連法についてはなく、計 8 問でした。

別途ご案内のとおり、法務3級試験につきましては、来年 (2018 年) 6 月試験 (第 140 回) より出題科目が変わります。しかし、基本的な出題内容やレベルには大きな変更はありません。手形・小切手など取扱量が減少している科目の減少、ならびに多様化している銀行取引関連法を増やし、実務の実情に合わせた変更といたしました。また、各科目 40%以上の得点を必須とする得点取得要件も廃止いたします。ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

〔表-1〕法務2級・業態別成績一覧表

(合格点は、50 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	149	2,356	269	381	2,024	138	165	30	6	0	6	522	6,046
応募比率	2.46	38.97	4.45	6.30	33.48	2.28	2.73	0.50	0.10	0.00	0.10	8.63	100.00
受験者数	136	2,067	183	304	1,769	105	147	22	3	0	5	321	5,062
受 験 率	91.28	87.73	68.03	79.79	87.40	76.09	89.09	73.33	50.00	0.00	83.33	61.49	83.72
合格者数	54	574	68	72	352	20	35	6	2	0	1	106	1,290
合 格 率	39.71	27.77	37.16	23.68	19.90	19.05	23.81	27.27	66.67	0.00	20.00	33.02	25.48
平均点	44.50	41.16	42.57	39.59	38.17	37.30	41.27	41.23	54.33	0.00	42.60	42.85	40.20
年 齢	26.0	31.6	34.4	36.5	36.7	37.6	35.2	34.8	25.3	0.0	40.0	34.8	34.1
勤続年数	3.6	9.3	11.8	14.3	13.9	15.1	12.3	11.1	3.3	0.0	15.8	10.3	11.5

〔表-2〕法務3級・業態別成績一覧表

(合格点は、60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	580	7,295	983	2,059	5,209	925	2,237	607	6	5	534	2,647	23,087
応募比率	2.51	31.60	4.26	8.92	22.56	4.01	9.69	2.63	0.03	0.02	2.31	11.47	100.00
受験者数	556	6,830	835	1,858	4,766	854	2,096	547	3	5	466	2,003	20,819
受 験 率	95.86	93.63	84.94	90.24	91.50	92.32	93.70	90.12	50.00	100.00	87.27	75.67	90.18
合格者数	262	2,355	299	512	1,477	260	567	180	2	0	139	754	6,807
合 格 率	47.12	34.48	35.81	27.56	30.99	30.44	27.05	32.91	66.67	0.00	29.83	37.64	32.70
平均点	57.44	53.08	51.20	50.84	51.80	51.59	49.65	53.15	61.33	38.80	51.17	53.99	52.27
年 齢	23.8	26.0	26.0	27.1	28.2	29.6	33.1	29.4	36.7	36.2	37.5	30.9	28.2
勤続年数	1.0	3.5	3.3	4.8	6.0	7.3	9.9	4.8	6.5	0.7	14.2	6.8	5.4

■財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数9,354名中受験者は7,521名で、合格者は2,379名でした。合格率は31.63%、平均点は46.62点で、ともに前回（2016年10月）を上回りました。

最高点は100点で、渡邊智仁さん（みずほ信託銀行）、荒木朋由希さん（池田泉州銀行）、高田真暢さん（銚子信用金庫）、佐野淳子さん（個人申込）の4名が個人最優秀賞を受賞されました。

もっとも平均点が低かった問題は、〔問題-5〕資産除去債務（平均点：0.63点）でした。次に低かった問題は、〔問題-10〕損益分岐点分析（平均点：3.04点）でした。

〔問題-5〕は、資産除去債務に係る基本的な取引についての問題です。資産除去債務に係る会計処理方法は、「資産除去債務に関する会計基準」に規定されていますが、この会計処理方法を理解していないと正解できない問題でした。

〔問題-10〕は、財務分析上、重要かつ基本的な経営指標である損益分岐点分析に関する問題です。頻出のテーマでしたが全体的に低調な結果となりました。

一方で、〔問題-4〕製造原価報告書と損益計算書の作成、〔問題-7〕収益性諸指標による時系列分析、〔問題-8〕生産性分析は、過去の類似問題などで学習されている受験者が多く、平均点は高くなりました。

全体の傾向として、四捨五入か切上げかの指示に沿わない金額等を記載する誤り、四捨五入の位取りの誤り、設問の指示にある計算過程を明示しない、単位の表示の誤認といったミスが多く見受けられました。

学習する際には、設問の指示に留意してケアレスミスなく解答できるよう、問題演習を行ってください。

■財務3級

「財務3級」の成績結果は、次頁〔表-4〕のとおりです。

応募者数18,730名中受験者は16,100名で、合格者は5,474名でした。合格率は34.00%、平均点は50.49点で、ともに前回（2017年3月）を下回りました。

最高点は100点で、本宮智美さん（七十七銀行）、稲本修一さん（ふくしま未来農業協同組合）、猿橋遥さん（高崎信用金庫）、平野恵子さん（埼玉縣信用金庫）、川畑希世さん（大阪府医師信用組合）、上ノ山栄治さん（りそな銀行）、玉井葉子さん、鴛田邦之さん、鈴木都久生さん、森近弘子さん、一守慶二さん、堀江美緒さん（以上、個人申込）、非公表1名の13名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-17〕損益計算書に記載されないもの、〔問-19〕売上高・売上原価の額の算出、〔問-26〕税効果会計、〔問-30〕電子記録債権・債務の4問でした。

〔表-3〕財務2級・業態別成績一覧表

（合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	334	3,846	436	820	2,196	84	93	17	17	1	31	1,479	9,354
応募比率	3.57	41.12	4.66	8.77	23.48	0.90	0.99	0.18	0.18	0.01	0.33	15.81	100.00
受験者数	296	3,255	307	652	1,882	64	80	14	11	0	24	936	7,521
受験率	88.62	84.63	70.41	79.51	85.70	76.19	86.02	82.35	64.71	0.00	77.42	63.29	80.40
合格者数	114	1,028	126	173	433	17	39	4	6	0	12	427	2,379
合格率	38.51	31.58	41.04	26.53	23.01	26.56	48.75	28.57	54.55	0.00	50.00	45.62	31.63
平均点	52.16	46.75	48.34	43.49	42.20	42.58	54.89	43.79	61.36	0.00	53.67	54.16	46.62
年齢	25.2	29.8	30.4	33.6	34.7	34.5	34.3	34.4	26.6	0.0	41.1	33.0	31.7
勤続年数	2.7	7.4	7.5	11.0	12.5	12.4	12.3	8.3	6.0	0.0	17.1	10.0	9.3

〔問－17〕は、損益計算書に記載されないものを選択する問題です。売上割引は早期回収に対する金融上の費用なので、損益計算書上の営業外費用に分類されることに注意が必要です。

〔問－19〕は、売上高・売上原価の額を算出する問題です。売上割戻について、売上値引と同様に、売上高控除項目であることが解答上のポイントです。

〔問－26〕の税効果会計に関する問題は、例年正解率の低い傾向があります。難易度の高いテーマではありますが定期的に出題される項目ですので、過去問題を活用し学習に取り組んでください。

〔問－30〕の電子記録債権・債務に関する問題は、今回、初めて出題されたものです。電子記録債権・債務はインターネットなどを用いた新しいタイプの債権・債務であり、近年、手形に代わる決済手段として急速に普及しています。

それぞれの勘定科目が貸借対照表や損益計算書

のどの区分に記載されるか、しっかりと整理しておく必要があります。本種目では、基本的な項目を中心に、応用的な出題形式にも対応できる学習が期待されます。

■財務4級

「財務4級」の成績結果は、〔表－5〕のとおりです。

応募者数3,138名中受験者は2,945名で、合格者は2,027名でした。合格率は68.83%、平均点は67.73点で、ともに前回は上回りました。

最高点は100点で、三島直人さん（関信用金庫）、齊藤ちひろさん（浜松信用金庫）、北出知行さん（大同信用組合）、佐竹葉菜さん（豊川信用金庫）、毛塚登さん、池田幸司さん、安島慎太郎さん（以上、個人申込）の7名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－49〕売上高営業利益率の1問でした。

〔表－4〕財務3級・業態別成績一覧表

（合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	511	5,037	339	1,737	5,375	863	734	67	365	17	571	3,114	18,730
応募比率	2.73	26.89	1.81	9.27	28.70	4.61	3.92	0.36	1.95	0.09	3.05	16.63	100.00
受験者数	483	4,542	264	1,493	4,802	752	663	53	279	16	475	2,278	16,100
受験率	94.52	90.17	77.88	85.95	89.34	87.14	90.33	79.10	76.44	94.12	83.19	73.15	85.96
合格者数	377	1,702	121	392	1,246	164	219	15	88	7	100	1,043	5,474
合格率	78.05	37.47	45.83	26.26	25.95	21.81	33.03	28.30	31.54	43.75	21.05	45.79	34.00
平均点	70.19	52.38	54.58	46.93	46.95	44.48	49.13	45.25	46.95	57.38	41.29	56.67	50.49
年齢	23.3	26.0	31.4	27.8	28.0	30.6	33.3	30.4	27.9	31.0	39.0	31.1	28.4
勤続年数	0.8	3.8	8.2	5.9	6.3	8.5	10.3	7.8	4.7	6.6	16.6	7.1	6.0

〔表－5〕財務4級・業態別成績一覧表

（合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	1	145	0	500	1,471	306	376	8	3	2	4	322	3,138
応募比率	0.03	4.62	0.00	15.93	46.88	9.75	11.98	0.25	0.10	0.06	0.13	10.26	100.00
受験者数	1	132	0	465	1,414	291	350	7	3	2	4	276	2,945
受験率	100.00	91.03	0.00	93.00	96.13	95.10	93.09	87.50	100.00	100.00	100.00	85.71	93.85
合格者数	1	82	0	301	1,049	168	203	7	2	2	2	210	2,027
合格率	100.00	62.12	0.00	64.73	74.19	57.73	58.00	100.00	66.67	100.00	50.00	76.09	68.83
平均点	72.00	65.73	0.00	64.85	69.92	63.11	63.72	88.57	70.00	79.00	50.50	71.83	67.73
年齢	24.0	26.3	0.0	23.6	24.5	24.2	26.5	28.6	35.3	35.0	41.5	30.7	25.3
勤続年数	2.0	4.0	0.0	1.6	2.8	3.2	3.3	5.0	8.0	25.0	0.0	5.3	3.0

一方で、正解率が80%を超えた問題は、〔問－1〕簿記上の取引とならないもの、〔問－3〕貸借対照表等式、〔問－4〕取引要素の結合関係、〔問－5〕資産と負債の減少が同時に生じる取引、〔問－11〕当座勘定残高不一致の原因、〔問－19〕新築工事代金の一部を支払った取引の仕訳、〔問－26〕棚卸資産の期末評価、〔問－46〕自己資本比率の8問でした。

例年出題されているテーマについては正解率が高く、問題解説集でよく学習されていることがうかがえます。

財務4級では、仕訳からスタートして、財務諸表、財務分析までの入門レベルの問題が幅広く出題されます。上級の3級や2級で応用が利くように基礎レベルの知識をしっかりと学習してください。

信託実務3級

「信託実務3級」の成績結果は、〔表－6〕のとおりです。

応募者数4,782名中受験者は4,222名で、合格者は2,002名でした。合格率は47.42%、平均点は56.44点で、ともに前回は上回りました。

最高点は94点で、川田尚香さん（三菱UFJ信託銀行）、池田祐樹さん（みずほ信託銀行）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－6〕受託者の忠実義務、〔問－12〕受益者代理人、〔問－22〕確定給付企業年金制度、〔問－23〕確定拠

出年金制度、〔問－26〕年金税制、〔問－27〕財産形成信託（一般財形信託）、〔問－35〕有価証券に運用する信託の税制の7問でした。全体としては良好な結果となりましたが、科目別にみると〈従業員福祉に関する信託〉の成績が低調でした。年金制度や年金税制について、知識の見直しが求められます。

また、〔問－6〕は、受託者の忠実義務の内容や、忠実義務違反として禁止される取引等について問うものでした。受託者は受益者に対して忠実義務を負いますが（信託法30条）、この点について理解が不十分な受験者が多かったようです。

一方、正解率が80%以上となった問題は、〔問－1〕信託の歴史、〔問－14〕遺言代用の信託、〔問－19〕後見制度支援信託、〔問－28〕有価証券の信託、〔問－36〕資産流動化の対象資産、〔問－39〕金銭債権信託、〔問－40〕動産信託、〔問－41〕引受可能な不動産、〔問－46〕遺言信託の9問でした。〔問－19〕は過去に出題されていないテーマでしたが、基本的な内容を問うものだったこともあり、高い正解率となりました。

金融経済3級

「金融経済3級」の成績結果は、次頁〔表－7〕のとおりです。

応募者数3,831名中受験者は3,327名で、合格者は1,538名でした。合格率は46.23%（合格基準点50点→14頁参照）、平均点は47.38点でした。

最高点は84点で、坂倉伊織さん（個人申込）

〔表－6〕 信託実務3級・業態別成績一覧表

（合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	178	397	2,670	47	261	4	23	8	1	0	0	1,193	4,782
応募比率	3.72	8.30	55.83	0.98	5.46	0.08	0.48	0.17	0.02	0.00	0.00	24.95	100.00
受験者数	172	352	2,439	39	235	4	21	7	1	0	0	952	4,222
受 験 率	96.63	88.66	91.35	82.98	90.04	100.00	91.30	87.50	100.00	0.00	0.00	79.80	88.29
合格者数	102	130	1,254	14	82	1	6	0	0	0	0	413	2,002
合 格 率	59.30	36.93	51.41	35.90	34.89	25.00	28.57	0.00	0.00	0.00	0.00	43.38	47.42
平 均 点	59.45	53.44	57.80	49.18	50.43	42.00	47.43	48.29	38.00	0.00	0.00	55.63	56.44
年 齢	25.6	33.7	30.8	36.5	39.9	39.5	36.5	30.7	42.0	0.0	0.0	35.2	32.4
勤続年数	3.1	11.0	7.8	12.6	17.9	22.0	12.7	8.1	0.0	0.0	0.0	11.2	9.3

が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈金融〉では〔問－5〕わが国の公社債市場、〔問－6〕わが国の株式市場、〔問－7〕商品市場の動向、〔問－8〕デリバティブ取引、〔問－15〕マネーストック統計、〔問－16〕オプション取引、〔問－18〕新BIS規制と銀行のリスク管理、〔問－22〕わが国の対外投資、〔問－23〕米国金融情勢の9問、〈経済〉では、〔問－32〕景気動向指数、〔問－42〕アジア経済、〔問－43〕地域貿易協定の3問、〈財政〉では、〔問－46〕基礎的財政収支、〔問－48〕税制改正の2問の計14問でした。

本種目は例年、おおむね同様のテーマから出題しています。それゆえ、問題解説集を活用した学習が効果的です。しかしながら、各出題テーマのなかには時事的な内容（統計値を含む）や新しい情報をふまえて出題されるものがあり、問題解説集だけでは解答を導くことができない問題も出題されます。これらの問題への対策としては、新聞

等で取り上げられることの多いトピックスを日頃よりチェックしておくことや、頻出している統計資料についてはホームページ等で最新情報を確認し、その年の傾向を把握しておくことなどがあげられます。

金融・経済・財政の各分野の基本的知識を深めるとともに、時事的問題に対応できるよう学習を進めていってください。

■デリバティブ3級

「デリバティブ3級」の成績結果は、〔表－8〕のとおりです。

応募者数685名中受験者は498名で、合格者は157名でした。合格率は31.53%、平均点は48.25点で、ともに前を下回りました。

最高点は90点で、三谷慶久さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－9〕長期国債先物取引の受渡決済、〔問－10〕ユーロ

〔表－7〕金融経済3級・業態別成績一覧表

（合格点は、50点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	45	1,280	867	182	179	33	54	48	399	2	143	599	3,831
応募比率	1.17	33.41	22.63	4.75	4.67	0.86	1.41	1.25	10.42	0.05	3.73	15.64	100.00
受験者数	38	1,162	763	144	164	30	46	44	335	1	137	463	3,327
受 験 率	84.44	90.78	88.00	79.12	91.62	90.91	85.19	91.67	83.96	50.00	95.80	77.30	86.84
合格者数	21	542	365	39	57	8	23	26	178	1	65	213	1,538
合 格 率	55.26	46.64	47.84	27.08	34.76	26.67	50.00	59.09	53.13	100.00	47.45	46.00	46.23
平均点	49.47	47.55	47.84	43.03	43.34	44.13	49.52	50.14	49.30	50.00	47.21	47.19	47.38
年 齢	25.2	29.5	36.8	36.2	37.7	29.5	32.6	33.3	26.1	23.0	43.2	35.2	32.9
勤続年数	2.9	7.4	14.7	13.9	14.8	6.4	10.7	10.3	3.7	1.0	18.2	11.6	10.4

〔表－8〕デリバティブ3級・業態別成績一覧表

（合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	38	268	14	16	22	0	13	3	1	0	1	309	685
応募比率	5.55	39.12	2.04	2.34	3.21	0.00	1.90	0.44	0.15	0.00	0.15	45.11	100.00
受験者数	27	229	10	13	18	0	11	2	1	0	1	186	498
受 験 率	71.05	85.45	71.43	81.25	81.82	0.00	84.62	66.67	100.00	0.00	100.00	60.19	72.70
合格者数	2	72	5	7	11	0	2	0	0	0	0	58	157
合 格 率	7.41	31.44	50.00	53.85	61.11	0.00	18.18	0.00	0.00	0.00	0.00	31.18	31.53
平均点	40.37	48.49	58.40	57.08	54.67	0.00	39.27	35.00	58.00	0.00	18.00	48.11	48.25
年 齢	26.7	32.0	35.6	34.5	37.8	0.0	32.3	45.5	32.0	0.0	31.0	32.5	32.3
勤続年数	4.5	9.1	12.6	11.2	14.2	0.0	9.9	23.5	6.0	0.0	8.0	8.5	9.0

円3ヵ月金利先物取引、〔問－14〕日経平均先物取引、〔問－23〕長期国債先物オプション取引、〔問－24〕ゼロコスト・オプションによる受取代金のヘッジ、〔問－25〕ドル償還特約付円貨債券、〔問－44〕金利スワップ取引の損益、〔問－45〕LIBORの価値、〔問－50〕デリバティブのリスク等の9問でした。

〔問－9〕は毎回のように出題しているテーマですが、今回、初出の選択肢を加えたので、やや難易度がアップしました。

〔問－10〕は、過去問題と同傾向の問題でしたが、直近2年は出題しなかったためか低調な結果となりました。

〔問－14〕は、前回ミニ取引を出題し、今回ラージ取引を出題したのですが、前は平均的な結果、今回は低調と意外な結果でした。

〔問－23〕は、2015年に久しぶりに出題したときは平均的な結果、今回は低調と意外な結果でした。

〔問－24〕は初出のテーマ、〔問－25〕はほぼ毎回出題して毎回低調な結果となることから、予想どおりでした。

〔問－44〕はほぼ毎回出題しており、毎回平均的な結果となることから、意外な結果でした。

〔問－45〕〔問－50〕は初出のテーマであることから、難度が高かったといえます。

今回の試験は標準的な合格率であったものの、ここ数年では低めの合格率であったといえます。その原因は、やや時間がかかる計算問題を出題し

たことから、検算する時間を十分確保できず、その結果、文章問題に時間がかけられなくなったのではないかと推測します。

■窓口セールス3級

「窓口セールス3級」の成績結果は、〔表－9〕のとおりです。

応募者数1,909名中受験者は1,773名で、合格者は773名でした。合格率は43.60%、平均点は56.70点で、ともに前を下回りました。

最高点は90点で、吉岡紘美さん（萩山口信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－9〕当座勘定取引契約と当座勘定規定、〔問－11〕手形の取扱い、〔問－17〕為替業務の知識、〔問－19〕個人型確定拠出年金、〔問－20〕窓口業務に必要な税務知識、〔問－30〕中途解約受取金額の計算、〔問－34〕応募者利回り、〔問－49〕老齢基礎年金の受給資格期間、〔問－50〕老齢基礎年金の計算の9問でした。これらの問題は毎年出題されているテーマでもあります。過去問題を中心に学習を進めていただき確実に正解していくことが、高得点の獲得を目指すうえでの重要なポイントとなります。

本種目の出題範囲は広範囲にわたります。それゆえ、限られた時間のなかで学習を進めるにあたり、ご自身の得意・不得意分野は何かという点を認識することが大切です。また、基本的には日頃の業務に即したテーマから出題していることか

〔表－9〕 窓口セールス3級・業態別成績一覧表 (合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	1	791	1	199	474	91	151	13	0	0	2	186	1,909
応募比率	0.05	41.44	0.05	10.42	24.83	4.77	7.91	0.68	0.00	0.00	0.10	9.74	100.00
受験者数	1	746	1	181	450	88	135	11	0	0	2	158	1,773
受験率	100.00	94.31	100.00	90.95	94.94	96.70	89.40	84.62	0.00	0.00	100.00	84.95	92.88
合格者数	1	416	1	88	142	17	32	6	0	0	2	68	773
合格率	100.00	55.76	100.00	48.62	31.56	19.32	23.70	54.55	0.00	0.00	100.00	43.04	43.60
平均点	78.00	59.81	68.00	58.92	53.52	49.57	49.79	56.73	0.00	0.00	65.00	58.14	56.70
年齢	28.0	29.9	31.0	28.0	30.6	29.0	30.6	28.9	0.0	0.0	46.5	33.0	30.2
勤続年数	6.0	6.8	9.0	6.0	8.7	7.7	7.8	5.6	0.0	0.0	27.0	9.1	7.5

ら、不得意分野を認識し知識を深めることは、日頃の業務を行ううえでの自信にもつながります。

効率的に学習を進め、得意・不得意分野ともに、知識を深めていってください。

法人融資渉外2級

「法人融資渉外2級」の成績結果は、〔表－10〕のとおりです。

応募者数1,166名中受験者は992名で、合格者は357名でした。合格率は35.99%、平均点は52.29点で、ともに前回はやや上回る結果となりました。

最高点は82点で、島田信一郎さん（りそな銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

今回、平均点が3点以下となった問題はありませんでした。〔Ⅶ〕融資先企業からの事業承継相談の平均点は3点台でした。事業承継に関する相談は、最近金融機関の実務の場で必要とされているテーマですので、知識の確実な習得が望まれます。

ます。

一方、平均点が5点を越えた問題は〔Ⅱ〕新規融資取引の推進、〔Ⅲ〕設備資金、〔Ⅴ〕取引先の財務分析（粉飾）、〔Ⅸ〕知的資産にもとづく事業性評価、〔Ⅹ〕融資渉外取引とコンプライアンスの5題でした。

法人融資渉外3級

「法人融資渉外3級」の成績結果は、〔表－11〕のとおりです。

応募者数1,792名中受験者は1,528名で、合格者は580名でした。合格率は37.96%、平均点は54.33点で、ともに前回はやや下回る結果となりました。

最高点は81点で、落合啓太さん（千葉銀行）、岡田直貴さん（岡崎信用金庫）、岸本智樹さん（関西アーバン銀行）、高島一樹さん（大阪シティ信用金庫）、本宮正晃さん（広島銀行）の5名が個人最優秀賞を受賞されました。

〔表－10〕 法人融資渉外2級・業態別成績一覧表 （合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	10	722	5	156	93	16	3	0	0	0	0	161	1,166
応募比率	0.86	61.92	0.43	13.38	7.98	1.37	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	13.81	100.00
受験者数	6	638	4	141	76	12	3	0	0	0	0	112	992
受験率	60.00	88.37	80.00	90.38	81.72	75.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	69.57	85.08
合格者数	4	265	2	24	8	0	2	0	0	0	0	52	357
合格率	66.67	41.54	50.00	17.02	10.53	0.00	66.67	0.00	0.00	0.00	0.00	46.43	35.99
平均点	63.17	54.43	57.75	45.67	43.71	36.67	60.33	0.00	0.00	0.00	0.00	54.93	52.29
年 齢	30.2	33.3	34.3	32.0	37.1	42.3	32.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.2	33.5
勤続年数	5.8	10.7	12.0	9.5	14.3	18.3	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	10.6	10.8

〔表－11〕 法人融資渉外3級・業態別成績一覧表 （合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	40	633	0	320	511	88	15	0	1	0	0	184	1,792
応募比率	2.23	35.32	0.00	17.86	28.52	4.91	0.84	0.00	0.06	0.00	0.00	10.27	100.00
受験者数	33	560	0	280	445	77	13	0	1	0	0	119	1,528
受験率	82.50	88.47	0.00	87.50	87.08	87.50	86.67	0.00	100.00	0.00	0.00	64.67	85.27
合格者数	18	267	0	90	120	15	8	0	1	0	0	61	580
合格率	54.55	47.68	0.00	32.14	26.97	19.48	61.54	0.00	100.00	0.00	0.00	51.26	37.96
平均点	61.52	57.30	0.00	52.91	50.91	48.70	58.31	0.00	61.00	0.00	0.00	57.64	54.33
年 齢	26.5	29.7	0.0	31.7	34.2	37.4	35.5	0.0	51.0	0.0	0.0	31.5	31.9
勤続年数	3.9	7.1	0.0	9.6	11.7	13.9	12.6	0.0	28.0	0.0	0.0	8.2	9.3

本種目は〈基本知識（択一式）〉と〈技能応用（記述式）〉で構成されています。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問－11〕貿易取引と為替変動リスク、〔問－16〕取引先からの借入申込みへの対応、〔問－17〕増加運転資金の売上高増加分の算出、〔問－20〕中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針、〔問－31〕粉飾決算の検証の5問でした。

〈技能応用〉の3題の平均点は、各10点中、〔問題－1〕取引先の資金繰り分析4.57点、〔問題－2〕設備資金申込への対応5.39点、〔問題－3〕コンプライアンス7.01点で、おおむね良好でした。

今回の試験では、択一式の正解率が30%以下の問題が前回の8問から、3問減少しました。受験者の普段からの融資実務に対する意識の高さと、事前学習の成果がうかがえます。

■ 個人融資渉外3級

「個人融資渉外3級」の成績結果は、〔表－12〕のとおりです。

応募者数1,603名中受験者は1,482名で、合格者は485名でした。合格率は32.73%、平均点は53.01点で、ともに前を下回りました。

最高点は84点で、安岡大さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、五答択一式15問、事例付五答択一式20問および事例付記述式3題で構成されています。

〈基本知識〉の五答択一式および事例付五答択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問－7〕不動産（不動産担保）に関する知識、〔問－8〕担保土地上の建物の法定地上権、〔問－14〕時効管理、〔問－24〕居住用財産の買換え等の場合の譲渡損失の取扱い、〔問－25〕居住用財産の買換え等の場合の譲渡損失額等の計算、〔問－26〕個人事業者の運転資金、〔問－31〕流動資産担保融資保証制度による運転資金融資、〔問－34〕課税遺産総額の計算の8問でした。

〈技能応用〉の事例付記述式は〔問題－2〕賃貸マンション建築と資金収支が出題した3題のなかではやや低調な結果となりました。

解答状況については、択一式問題は想定よりもやや良好な結果となりました。正解率が低調だった問題は基本知識に加え応用力が必要な問題となっており、問題解説集を中心とした学習だけでは難度が高かったようです。記述式問題については基本的な論点は過去にも複数回問われているものでしたが、時事的な要素も加わり、想定よりも得点しづらいものとなったようです。

本種目は個人にかかる渉外業務に携わるうえで必要な業務知識の習得度合いを総合的に判定するものであり、出題内容が多岐にわたります。学習に際しては、いままでの業務を通して積み重ねてきた法務・財務・税務等の基本的な知識と融資業務における基本事項にかかる知識を再確認しておくことが重要となります。

〔表－12〕 個人融資渉外3級・業態別成績一覧表 （合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	8	399	5	174	467	88	323	30	1	0	9	99	1,603
応募比率	0.50	24.89	0.31	10.85	29.13	5.49	20.15	1.87	0.06	0.00	0.56	6.18	100.00
受験者数	8	361	5	158	433	82	313	28	1	0	8	85	1,482
受 験 率	100.00	90.48	100.00	90.80	92.72	93.18	96.90	93.33	100.00	0.00	88.89	85.86	92.45
合格者数	2	196	3	43	130	22	40	6	1	0	4	38	485
合 格 率	25.00	54.29	60.00	27.22	30.02	26.83	12.78	21.43	100.00	0.00	50.00	44.71	32.73
平 均 点	57.88	59.72	66.40	52.18	53.70	52.61	43.52	50.96	72.00	0.00	62.13	56.16	53.01
年 齢	30.0	31.2	34.4	31.1	31.2	33.8	30.5	30.6	42.0	0.0	39.6	33.1	31.3
勤続年数	6.0	8.6	10.8	8.8	8.9	11.3	7.6	7.6	3.0	0.0	24.2	11.2	8.8

■金融リスクマネジメント2級

「金融リスクマネジメント2級」の成績結果は、〔表-13〕のとおりです。

応募者数885名中受験者は769名で、合格者は209名でした。合格率は27.18%、平均点は52.51点で、ともに前回は下回りました。

最高点は80点で、中村暁美さん（四国銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四択一式35問と記述式3題で構成されています。

四択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問-27〕不正な預金払戻しと預金者の保護、〔問-31〕相続における遺言、〔問-34〕貸出金の問題債権管理、〔問-35〕債権の自己査定との4問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問-3〕リスク処理計画、〔問-4〕リスクマネジメントの形態、〔問-5〕危機管理、〔問-6〕リスク

の評価・分析、〔問-9〕為替リスク、〔問-12〕預金保険制度、〔問-16〕医療保険の支払保険金の7問でした。

本種目の学習にあたっては、過去問題で出題傾向を把握し、毎事務年度の金融行政方針をはじめとする関連資料や、大きな改正のあった法令などを確認・整理しておくことが大切です。

■金融商品取引3級

「金融商品取引3級」の成績結果は、〔表-14〕のとおりです。

応募者数1,556名中受験者は1,389名で、合格者は621名でした。合格率は44.71%、平均点は57.16点で、ともに前回は上回りました。

最高点は96点で、中山剛志さん（横浜銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-27〕情報提供義務、〔問-28〕情報提供義務の例外等、

〔表-13〕金融リスクマネジメント2級・業態別成績一覧表（合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	12	443	28	90	153	11	21	19	1	0	1	106	885
応募比率	1.36	50.06	3.16	10.17	17.29	1.24	2.37	2.15	0.11	0.00	0.11	11.98	100.00
受験者数	10	394	24	78	132	8	18	19	1	0	1	84	769
受験率	83.33	88.94	85.71	86.67	86.27	72.73	85.71	100.00	100.00	0.00	100.00	79.25	86.89
合格者数	3	133	14	8	16	0	5	9	0	0	0	21	209
合格率	30.00	33.76	58.33	10.26	12.12	0.00	27.78	47.37	0.00	0.00	0.00	25.00	27.18
平均点	54.40	54.31	57.92	48.60	48.58	50.50	51.89	58.53	56.00	0.00	59.00	50.92	52.51
年齢	36.1	41.5	42.6	40.3	43.2	36.4	39.3	37.5	56.0	0.0	34.0	39.7	41.3
勤続年数	15.0	18.9	19.2	17.1	20.8	16.2	18.8	13.8	32.0	0.0	11.0	16.2	18.6

〔表-14〕金融商品取引3級・業態別成績一覧表（合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	75	805	26	87	257	11	43	36	4	2	4	206	1,556
応募比率	4.82	51.74	1.67	5.59	16.52	0.71	2.76	2.31	0.26	0.13	0.26	13.24	100.00
受験者数	70	720	25	82	235	10	40	33	3	2	3	166	1,389
受験率	93.33	89.44	96.15	94.25	91.44	90.91	93.02	91.67	75.00	100.00	75.00	80.58	89.27
合格者数	39	342	21	25	67	6	12	15	1	1	1	91	621
合格率	55.71	47.50	84.00	30.49	28.51	60.00	30.00	45.45	33.33	50.00	33.33	54.82	44.71
平均点	60.00	58.04	70.08	53.56	52.15	60.40	51.90	56.55	50.00	61.00	40.67	60.63	57.16
年齢	25.3	32.8	37.3	39.8	34.2	37.0	33.6	32.8	47.0	26.5	43.3	35.3	33.6
勤続年数	2.7	10.1	13.6	17.4	11.7	13.4	12.6	8.6	20.7	4.0	16.0	10.6	10.6

〔表－15〕事業性評価3級・業態別成績一覧表 (合格点は、60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 協 農	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	344	3,805	1	668	3,463	598	142	2	3	0	4	636	9,666
応募比率	3.56	39.36	0.01	6.91	35.83	6.19	1.47	0.02	0.03	0.00	0.04	6.58	100.00
受験者数	336	3,663	1	626	3,326	576	137	2	2	0	4	574	9,247
受験率	97.67	96.27	100.00	93.71	96.04	96.32	96.48	100.00	66.67	0.00	100.00	90.25	95.67
合格者数	322	3,248	1	480	2,373	369	101	2	2	0	1	441	7,340
合格率	95.83	88.67	100.00	76.68	71.35	64.06	73.72	100.00	100.00	0.00	25.00	76.83	79.38
平均点	72.23	69.43	68.00	65.59	64.17	61.64	64.61	62.00	66.00	0.00	58.00	66.05	66.60
年齢	31.5	36.0	40.0	36.6	39.3	38.9	37.4	47.0	37.5	0.0	48.0	39.1	37.5
勤続年数	8.8	13.5	18.0	14.0	16.9	15.5	15.0	25.0	17.5	0.0	25.0	15.4	14.8

〔問－49〕デリバティブを内包する預金に関するガイドラインの3問のみと、非常によく得点されていました。

〔問－27〕〔問－28〕は、保険業法の改正により新たに加わった規制で、ともに今回が初出となることから難度が高いものでした。

〔問－49〕は、定番と考えてもよいテーマで、これまでは良好な結果であったことから意外でした。

本種目は、金融市場のルールと金融商品販売のルールに関する問題で構成されています。いずれについても、よく学習していただいている姿勢がうかがえます。

■事業性評価3級

「事業性評価3級」の成績結果は、〔表－15〕のとおりです。

応募者数9,666名中受験者は9,247名で、合格者は7,340名でした。合格率は79.38%、平均点は66.60点となりました。

最高点は92点で、鈴木雅人さん（長野銀行）、森宏記さん（三重銀行）、藤原俊太郎さん（中国銀行）、高橋徹朗さん（伊予銀行）、樋田卓也さん（東春信用金庫）の5名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－20〕取引先の定量面・定性面把握と理解・分析の1問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問－4〕金融モニタリング基本方針、〔問－5〕事業性評価の理解、〔問－7〕事業性評価の体制整備、〔問－8〕事業性評価の取組みプロセス、〔問－13〕取引先を取り巻く事業環境の変化、〔問－15〕バリューチェーンの理解と分析、〔問－17〕統計情報の収集、〔問－26〕取引先の強み、〔問－30〕事業性を理解した取引先の資金ニーズの把握、〔問－34〕事業計画書の策定、〔問－38〕事業性評価を主眼とするモニタリング、〔問－43〕バリューチェーンの観点での企業分析、〔問－44〕バリューチェーンの視点をふまえたアドバイス、〔問－45〕取引先の内部環境の理解の14問でした。

本試験は昨今の金融行政の流れもふまえ、金融機関行職員が事業性評価の観点から取引先企業の業績維持・向上のために適切なソリューションを提案するまでの基礎知識・実務知識を測定するための試験として、今回新設いたしました。

各金融機関の関心の高さから、2017年度は10月、3月にも特別実施しますので、ぜひご活用ください。